

令和7年度

第2回 学校評価アンケート 集計結果



長門市立神田小学校

令和7年度 第2回学校評価【全体比較による分析】

	項 目	児童	保護者	地域	教職員	平均
チャレンジ目標	「気持ちのよいあいさつ！めざせレベル5！」	100.0	83.3	100.0	100.0	95.8
	「時間を守ろう！開始や集合！」	83.3	83.4	90.9	100.0	89.4
	「やさしくかかわろう！言葉や行動！」	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
学校生活	めざす学校像について	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	学習内容の理解	100.0	83.3	63.7	100.0	86.8
	主体的な学び	100.0	100.0	81.8	100.0	95.5
	自分の考えをもち、伝えている	100.0	100.0	90.9	100.0	97.7
	先生や友だちの話をよく聞いている	100.0	100.0	81.8	100.0	95.5
	友だちと仲良くしている	83.3	100.0	100.0	100.0	95.8
	いじめやトラブルの未然防止、早期対応	100.0	100.0	90.9	100.0	97.7
	授業や学校行事等に地域の力を生かしながら教育活動を進めている	100.0	100.0	90.9	100.0	97.7
家庭生活	家庭学習への取組	100.0	100.0	—	100.0	100.0
	自主学習への取組	100.0	83.3	—	100.0	94.4
	体力づくりへの取組	83.3	66.7	—	100.0	83.3
	交通安全（道路歩行、自転車の乗り方）	83.3	100.0	90.9	100.0	93.6
	家庭での挨拶	100.0	100.0	—	—	100.0
	地域行事への参加	83.3	100.0	81.8	—	88.4
	メディアに関わる約束	83.3	50.0	—	—	66.7

※肯定的評価の割合（「わからない」も割合に含めて算出しています）

全体分析と今後の取組について

【チャレンジ目標について】

① 気持ちのよいあいさつ(※日置みずぐ学園重点取組事項)

・児童の肯定的評価は1回目に続き100%で、さらに全員が「よくあてはまる」を選んでいる。これは気持ちのよいあいさつを心がけている表れといえる。一方で、保護者の肯定的評価は1回目よりやや下がっている。自分ではできているつもりでも、相手には声が小さい、元気がないと感じられることがあるのかもしれない。気持ちのよいあいさつは自分の心を整えることにもつながる。今後も日置みずぐ学園の共通の取組事項として、気持ちのよいあいさつが継続できるように声かけをしていく。

② 「時間を守ろう!開始や集合!」

・1回目に比べ少し改善がみられた。特に、保護者において肯定的評価が高くなっており、学校だけでなく、家庭でも時間を意識した行動がみられるようになったことが伺える。見通す力を意識している児童が多く、そのことが家庭での行動にもつながっていると思われる。学校でできることが学校の外でもできると、本当の意味でその習慣が身についてきたと言える。

③ 「やさしくかかわろう!言葉や行動!」

・この項目は、1回目に続き2回目も肯定率が100%で、特に地域の「よくあてはまる」の割合が100%と高いものであった。ふれあいタイムなど児童とのかかわりの中で感じられた結果だと考えている。児童同士が互いに声をかけ合いながらかかわり、困っている友達がいたときには「大丈夫」とよく声をかけている。今後もかかわり方を振り返るようにし、やさしくかかわるとはどうすることか具体的な姿に結びつけながら意識させるようにしていく。

【学校生活について】

① めざす学校像について

・めざす学校像については、今回も肯定的評価が100%であった。「よくあてはまる」の回答も前回に続き80%台と高く、よい結果となっている。児童、保護者、地域、教職員それぞれが学校に良い印象をもっていることが分かる。閉校に関する記念行事も協力しながら行うことができた。閉校まで残り3か月となったが、皆さんの神田小学校への想いを大切にしながら教育活動を行っていく。

② 学習内容の理解

・学習内容の理解については、4期連続で児童と教職員の肯定的評価が100%となっている。授業の中で「分かった。できる。」という思いをもっていることがうかがえる。10月に行った山口県学力定着確認問題では、概ね学習内容については理解しているものの、国語では、課題も見られた。学校で作成している学力向上プランを確実に実施し、成果と課題をとらえながら、引き続き学習内容の定着を図り、応用する力をつけていくようにする。

③ 主体的な学習

・本校では、「けテぶれ学習」を行い、児童が見通しをもち、学習を進めることができる力を育成している。特に誤答を大切にし、なぜ間違えたのかをしっかりと考えることで学習内容の定着に結びつくようにしている。また、高学年では個別最適な学習として、個に合った進め方や学習内容を自由進度として選択的に行っている。やらされる学びではなく、自分から学びを組み立て、積極的に取り組もうとする姿が見られるようになってきている。

④ 自分の考えを表現している

・この項目については、昨年度から「話し合いのときに意見を言っているか」で児童には質問している。昨年度の後期から段々と肯定的評価が上がってきており、今回は肯定的評価が100%となった。自分の考えをしっかりと発言しようという意識が成果として表れてきている。全体の肯定的評価も高く、保護者や地域の方から見ても児童に表現力がついてきていると捉えられている。統合や進級してもこの表現力を生かせるように、神田小児童のよさの一つとして価値づけ、自信をつけさせていく。

⑤ 先生や友だちの話をよく聞いている

・肯定的評価が1回目よりも高くなっている。また、児童と教職員の、「よくあてはまる」の割合も前回より高くなっていることから、聞く力が伸びていることが分かる。「聞き方あいうえお」にある、「相手を見て聞く」ことが特に定着しているように感じる。よい聞き手、よい話し手を授業や日常生活で育てていくことで相乗効果を図ってきたが、その成果が表れてきている。

⑥ 友だちと仲良くしている

・今回のアンケートでは児童の肯定的評価がやや下がる結果となった。日ごろの学校生活を振り返る中で、「もう少しこうすればよかった」と感じた点があったためだと考えられる。自分の行動を見つめ直している証でもあり、この気づきを今後にかかしていくことが大切である。6人の児童が神田小学校での最後の学期を気持ちよく過ごせるよう、チャレンジ目標とも関連させながら、友達へのかかわり方について改めて考えるようにする。

⑦ いじめやトラブルの未然防止、早期対応

・いじめは、どの子にもどの学校にも起こり得るという認識をもち、未然防止と早期対応に取り組む必要がある。昨年度からこの項目について調査しているが、児童全員が「いじめはどんな理由があってもいけない」と理解している。神田小学校で定めている「学校いじめ防止基本方針」に基づき、まずは未然防止を重視し、授業や行事などすべての教育活動を通して、人間関係づくりや心の育成を進めていく。また、スクールカウンセラーとも連携し、困ったときの対処の仕方や友達とのかかわり方、SOS の出し方について指導し、だれもが安心して学べる集団づくりに努める。

⑧ 授業や学校行事等に地域の力を生かしながら教育活動を進めている (※日置みずぐ学園重点取組事項)

・肯定的評価が継続して高い傾向にある。2学期には、ふれあいタイムやなかよしデイなど地域とのつながりを大切にした教育活動を実施することができた。また、総合的な学習の時間では、化石の発掘やみそづくりなど神田小校区ならではの体験を通して学びを行うことができた。神田小学校にとって最後となる様々な行事を学校、保護者、地域が一体となって充実したものとなるように取り組んでいる。3月の閉校式や閉校記念行事が心に残るよいものとなるように今後も連携を図っていく。

【家庭生活について】

① 家庭学習への取組

・肯定的評価が児童、保護者、教職員とすべて100%であった。令和5年度以降では初である。家庭で学習を行う理由を理解し、継続的に取り組むことで習慣化されてきたのではないかと考える。学校や家庭で家庭学習への取組でよい所を称賛したり、必要なことを助言したりしながら、児童がやってよかったと思えるような取組になるように今後も支援していく。

② 自主学習への取組

・自主学習への取組についても1回目に引き続き改善傾向にある。家庭学習の取組と関連しているところがあり、自主学習で何に取り組むかが家庭学習の充実にもつながっていると言える。以前は何をするか分からないといった意見もあったが、今年度取り組んでいる「けてぶれ学習」の分析と練習がこの自主学習とも結びついている。自分にとってどんな学びが必要なのかを考えながら家庭での学習に取り組んでいく力を今後も高めていく。

③ 体力づくりへの取組

・本校では今年度、体力向上に向けた重点的な取組として、持久力と走力の向上を目指している。2学期には業間走に例年より少し早く取り組み、練習の方法も工夫して、自分に合ったペースを考えながら走るようにした。体力の向上には継続が必要となる。前回に引き続き今回の調査でも、家庭での運動の取組がやや減少傾向にあるので、家庭でもできる簡単な運動を再度紹介し、学校だけでなく家庭でも継続して体力づくりができるよう引き続き働きかけていく。

④ 交通安全(道路歩行、自転車の乗り方)

・ここ数年児童の関係する交通事故は起こっていない。児童はもちろん、保護者、地域の方も交通安全に心がけていただいているおかげではないかと思う。「事故は一瞬」とよく言われるので、今後も歩き方や自転車の乗り方について KYT(危険予測学習)等を活用しながら具体的に指導し、児童自身が判断し、日ごろから安全な行動がとれるようにしていく。

⑤ 家庭でのあいさつ

・家庭でのあいさつについては4期連続で肯定的評価が100%となった。神田小学校でのチャレンジ目標や日置みすゞ学園の共通取組事項としてあいさつに取り組んでいるため、あいさつに対する児童の意識は高いと言える。また、保護者の方からもあいさつについて声をかけていただいていることがうかがえる。朝起きたあとの家庭での「おはよう」から一日がスタートする。その最初のあいさつを今後も大切にしていただければと思う。

⑥ 地域行事への参加

・日置地域はもちろん、長門市全域の行事に積極的に参加をしてほしいという思いから、昨年度より「長門市や地域の行事、催し事」への参加について尋ねている。今学期は、ふるさと祭りへ全児童が参加し、ふるさと応援パフォーマンスとして応援や神田ソーランを披露した。日置交流プラザで行われている事業もいろいろとあるので、ぜひ興味のあるものには積極的に参加してほしい。

⑦ メディアにかかわる約束

・1回目に比べ、児童と保護者ともに肯定的評価が下がっている。メディアとのかかわりについては他校でも課題となっており、日置みすゞ学園では重点取組事項の一つとして取り組んでいる。今学期は、保護者へメディアに対する意識調査を行い、結果をフィードバックしている。日本小児科医会によると、すべてのメディアに触れる時間は「全部で1日2時間まで」を目安とするよいと提言されているが、調査の結果からやはり長時間のかかわりが課題となっている。メディアのメリットやデメリットについて学校からも情報提供を行いたい。

自由記述より

【保護者・学校運営協議会委員】

- ・以前と比べて意欲的に学習に取り組む姿をみるようになったと思います。言われたからやると言うよりは自分でやる意味を考えながら取り組んでいるように感じます。担任の先生を始め先生方の熱量を感じます。いつもありがとうございます。
- ・養護の先生も子供の様子を気にかけて下さり、困ったときなどいつも対応して頂きありがとうございます。
- ・いろいろな制限のある中、できることをがんばってされていると思います。